

戦であるから弱味があるかも知れない。しかし極めて短時間の内に我々が南太平洋における空軍の優勢を獲得するであらうことは問題のないところである。日本軍は最初の四週間にソロモン、ニューギニアにおいて百七十五機以上の飛行機を失ったと見られてゐるが、現在では數百機の喪失に達するものと見積られてゐる。しかも大抵の場合操縦士をともに失つてゐるのである。従つて米空軍力が上昇し、日本空軍力が下降してゐるといふことは確かに言へるのだ。

#### ◎海軍日の凶報と米紙欺く

米官用電ワシントン廿八日發

米空母ワスプ號喪失に關するニューヨーク・タイムズ紙の社説「海軍記念日の前夜、斯かる發表が行はねばならなかつたことは誠に悲しむべきである。併しながら事實を抑へて發表しないことによつて何等益する所はない。ワスプ號を攻撃した敵艦艇が遂に我が驅逐艦の遮斷線を突破し得て自國側の港に歸還の後右戦果を報告し得なかつたことは殆ど疑ひない所であり若し無事に歸還し得たなら日本は斯る勝利を放棄してさぞ嬉しかつた事であらう。然るにワシントンが同船の喪失を是認した翌日までは日本はワスプのワの字さへも言ひ出さなかつたのである。

#### ◎グ島飛行場確保の事實こそ植込と米紙

米官用電ワシントン廿八日發ワシントン・サイヤンス・モーター紙社説

グアダルカナルの米兵達は又もや日本軍の攻撃を撃退した。然し敵も又もや増援部隊を上陸せしめた。日本軍が其の攻撃に戦車を使用してゐることは彼等が可成り多數上陸し得たことを現はすものである。此の攻撃は米軍からの熾烈なる攻撃を冒して海上艦艇及び飛行機の援護の下に行はれたのである。然しグアダルカナルの飛行場が現在も尙使用し得ると言ふ事實は同方面の戦況に關して最も希望の持ち得ることである。又ハルゼー中將の西南太平洋艦隊司令長官就任も我々は期待を待たしめる事實である。蓋しハルゼー提督は賢明にして攻撃的な指揮官として立證済みであるからである。

#### ◎ソロモン作戦は陸海共同で樹立とスチムソン

UPワシントン廿九日發陸軍長官スチムソン記者團會見

(問)ソロモン戦の報道は海軍が單獨で行つて手遅れにならないうちに陸軍に援助を求めなかつたこの理由で歪曲されたとあるとジヨン・エム・コストロ下院議員などが非難してゐる様であるが、

(答) ソロモン方面の戦闘は陸海軍合同参謀本部が協議の上決定した計畫に基いて行はれたものである。尙ほこれ以上にソロモン戦闘の發展經過について説明を行ふことは余の職掌ではない。

ソロモン戦闘は當初米軍を驅逐せんとする敵側の企圖に於て甚大な損傷を蒙つたにも拘らず、グアダルカナル飛行場周辺の米軍陣地に對し日本軍の新しき攻撃が豫期せられる。日本軍は同島に猶ほ強大な勢力を有して居る模様で、先週の攻撃を開始する以前に於てグアダルカナルに二萬の兵力を集めてゐたといはれ、その後また増援部隊が續々上陸してゐる。海軍としてはソロモン群島の支配を持續するため現任行はれてゐる海戦については廿八日に發表せられた以外には何一つとして附け加へるべき材料を實際有してゐない。

### ◎利敵情報は出さぬと米大統領逃ぐ

米官用電報ワシントン廿日發、廿日、廿日のホワイトハウス新聞會見に於てソロモン戦に關して問を受けるや大統領は左の如く答へた。  
敵を利用することなからうなニュースは目富らない。

### 海外特殊情報 第五十號

#### ◎智利新内閣の對外政策の動向

同盟リリオデジャネイロ通信員椎野豊(歸朝中)述リチリ新内閣成立に際しリオス大統領が米洲連帯を強調すると同時に中立堅持を聲明した旨新聞情報に傳へてゐるが真相については未だ確報がない。常識的に考へれば墨國內閣の成立はチリをしてチリ本位の對外政策を確立せしむる可能性が認められる様ではあるが、これまでの複雑多岐な同國の内政的見地より見て表面的には従來通り中立政策を保持し實質的に中立政策を放棄するが如き態度を執る可き可能性が想像される。この事はリオス大統領がこれまでしきりに米洲連帯を聲明して來た事實によつても伺ひ知ることが出来るのであつて其結果チリは中立態度維持のまま、徐々に但し積極的に米國に接近しやうと試みるかも知れない。而してその接近方法は大体日米開戦までの米伯關係のごとく財政的、經濟的側面において行はれ遂には伯國が日米戦前既に北方基地を米國へ提供した如くチリの海空基地を米國へ提供すると言ふ軍事提携にまで發展する可能性なしとしない。米國が假りにチリに海空基地を求めるとすればおそらくは極南地域なる可く米國としては一方に於てダカールを占據して南部大西洋を兩斷しやうと企て

昭。一七・一一・七(出)  
情報局第一部第二課